一般質問③

湯田（ゆだ） 哲（さとし） 議員

生成AI活用への町の考えは

町長⇒先進自治体動向を注視し慎重に対応

問 6月10日の民友新聞に「生成AI活用、行政前向き」の記事があり、須賀川市では「人口とともに職員も減り、将来のために備える必要がある」などの記載もあった。

本町では生成AIをどうとらえ、今後の行政運営の中で、どのように活用していく考えか。

町長 生成AI活用は、大きな時代の流れであり普及してくものと考えています。

しかし、先般の新聞報道にもあるように、情報の正確性や信頼性、著作権の問題を含め大きな課題があると認識しており、現時点では、国、県、先進自治体の動向を注視し活用やルール作りなど慎重に対応していきます。

問 町内で民間発電会社設立をサポートし、安い電気代で「電気の地産地消の町」での企業誘致は。

町長 そのような方々からの要望があれば、情報提供などの支援をしていきます。

しかし、町が過度に関与すべきものではないと考えています。

用語 「生成AI」とは

コンピュータが学習したデータを基に、新しいデータや情報をアウトプットする技術。

住民の公共交通、目指す未来の姿は

町長⇒利便性が向上し町民が移動しやすいまち

問 住民交通手段確保のため、バスによる生活路線運行、デマンドタクシー、スクールバスなどで総額2億円以上の経費が投じられています。会津乗合自動車(株)の大型バスが2～3人の乗客を乗せて移動する情景が、町の目指す未来の交通網の姿ではないはずです。

町の考える未来の姿は。

町長 第3次南会津町総合振興計画では「利便性が向上し、町民みんなが移動しやすいまち」を目指す姿とし、令和12年度の目標達成のため取り組んでいます。

本年度、地域公共交通のマスタープランとなる「南会津町地域公共交通計画」の策定に着手、それにより地域に望ましい公共交通の姿を明らかにし、地域の多様な輸送資源の活用策を盛り込むことで、持続可能な公共交通形態を確保し、総合振興計画に掲げる目指す姿の実現に向けて取り組んでいきます。

その他の質問

- 学校教育への生成AIの影響と授業への導入の考えは
- 御蔵入交流館で映画鑑賞という芸術を味わうチャンスを